

Front Suspension



発売間もないロードスポーツ用のオーリンズ正立フォークを装備。オールペンされた車体色とのマッチングもピッタリだ。インナーチューブ径は43φでノーマルZRX1100/1200にもボルトオン装着できるのだが、ステムは上下共にトゥービー製のアルミ削り出しに交換されている。オフセットはノーマルと同じで、クランプの幅を大きく取ることによって大幅な剛性アップが図られている。

Cockpit



スピードメーターは輸出用の260km/hフルスケールに交換されているが、その上にヨシムラのテンプレーターが貼り付けてあるためにスピードは確認できない。今回のサーキット走行に合わせたの装備か、それともレーシングマシンの名残か。

Front Brake System



フロントブレーキにはベルリンガーの6ポッド・スーパーバイクキャリパーを装着。同じベルリンガーの6ポッドでも、2パットのエンデュランスタイプに比べて、この6パッドは入力初期の食い込みが格段に強力。リリース時の反応はスムーズで、コントロール性も高い。ディスクローターも同じくベルリンガーのレーシング・エアロナル。鋳鉄をベースにした化学合成キャストリングだ。

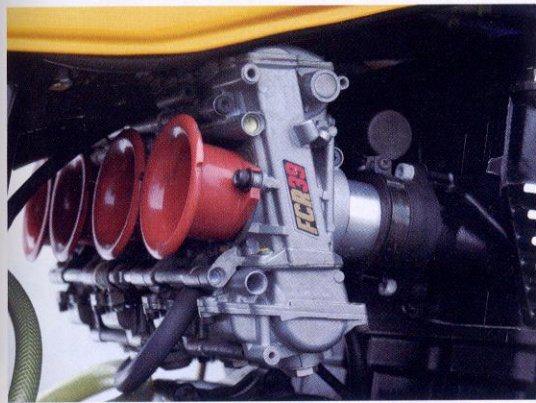


ブレーキマスターはベルリンガーのラジアルタイプ。ピストンの作動はスムーズだが、独特な形状のレバーは好みに分かれるところ。



アルミ削り出しのステップはペガサスのオリジナル。ローレット加工が施された固定式ステップバーは、いかにもレーサーらしい。

Carburetor and Muffler



キャブレターはFCR39φ、マフラーは小径かつショートなMotoGPサイレンサーを装備したKファクトリー3Dチタン。パッフルを外した状態のエキゾーストは周囲の空気を震わし、乾いたサウンドを轟かせる。

Rear Suspension

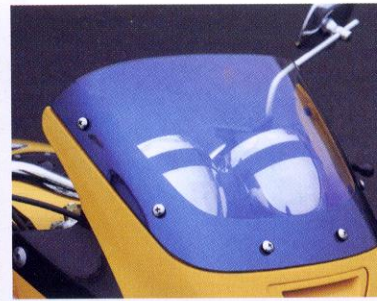


リヤショックの取り付け位置が可変タイプのスイングアームは、同じ九州は宮崎県のウイリー製。リヤショックはオーリンズのフルアジャスタブルを加工したもの。単に色味を買ってあるだけでなく、コイルスプリングはペガサスが独自に開発したもので、当然スプリングレートもスタンダードとは異なる設定となっている。

Exterior



元がレーシングマシンだけに、アンダーカウルはレギュレーション的にも標準装備的なパーツ。A-TECH製カーボンケブラーのアンダーカウルは軽量で強度も十分。空力的なメリットとデザインを引き締める効果あり。



ミラーコーティングされたスクリーンもA-TECH製。内側から見ると薄いスモークカラーで、夜間でもそれなりに視界を確保できそう。明るめのミラーコーティングは車体色とのマッチングもなかなか良い。

Make On **A**dvance, Have On **E**volution.

PEGASUS 2000 ZRX1100